

No. 47

平成28年10月 発行

静岡県老人福祉施設協議会

〒420-0856 静岡市葵区駿府町1-70
静岡県総合社会福祉会館内

TEL. 054-653-2311 FAX. 054-653-2312

E-mail: sizurosi@vesta.ocn.ne.jp

http://www.shizu-roshikyo.jp/

しず老施協

巻頭言

静岡県老施協副会長として思う



静岡県老人福祉施設協議会

副会長

種岡 養一

この春、前任者の栗野副会長よりバトンを引き継ぎました種岡でございます。副会長という大役を果たせる器ではございませんが、会員の皆様のご理解とご協力の下、努めて参りたいと思いますので、よろしく願いいたします。

さて、8月19日に開催されました第8回静岡県高齢者福祉研究大会には、初めての西部地区の開催にも関わらず、920名余のご参加を得て無事に終了出来ましたことに厚くお礼申し上げます。大会も回を重ねるごとに内容も益々充実し、県内の施設職員皆さんの資質向上の一助となっていることを実感し、大変嬉しく思います。

ご案内のとおり、時代の変化と共に、福祉施設に求められることも変わって参りました。施設に於ける生活の質の向上は言うに及ばず、職員の接遇マナーに至るまで、ご利用者様、そのご家族様のニーズは細かく多岐に亘っております。また過日、熊本では大規模な地震災害が発生し、甚大な被害をもたらし、今も日常生活に大きな支障を来す状況にあります。さらに、相模原市の障害者施設に於いて、想像も絶する凄惨な事件が起こったことにも激しい衝撃を受けました。これら災害対策に留まらず、防犯対策にも心を配らなければならない事態となっています。

このような中で、福祉施設には、より快適性と安全性が求められており、かつ、厳しい経営環境下であり

ながらも、費用対効果を意識した施設運営を求められています。また、慢性的な介護・看護職員の不足も深刻であり、喫緊の課題でもあります。

こうした諸課題に対応していくには、個々の法人・施設、個々の職員の「頑張り」だけでは到底、解決するには限界があると思われま

す。ゆえに、これらの諸課題に対して、石川三義会長を中心に静岡県老施協は、会員同士がより一層の連携を深め、個々の頑張りを束ね一丸となって対処していくことが極めて重要であると思



第8回静岡県高齢者福祉研究大会開会式

第8回 静岡県高齢者福祉研究大会を終えて

高齢者福祉研究大会実行委員会副委員長 木下 晋一



リオ・デ・ジャネイロ オリンピックのメダルラッシュで日本中が熱狂し興奮覚めやらぬ最中（さなか）の平成28年8月19日金曜日、静岡県老協で「最も暑い一日」が、終わりました。第8回静岡県

高齢者福祉研究大会「未来へつなぐ ふじのくにの介護力～その想いが感動の介護を育む～」が西部のアクトシティ浜松で開催され、8年目を迎える今年も講演会、研究発表と例年同様に行われました。研究発表72題、発表者135人、会員施設職員685人、一般参加者38人（学校関係3人）運営スタッフ68人のご参加を頂き総勢926人の盛大な大会を無事終了する事が出来ました。

午前の講演では、現在NHKのサッカー解説者で、2004年アテネオリンピックの日本代表監督の山本昌邦氏から「心をつかむ人材育成術」と題して選手起用の妙味を披露され、地元出身の「ゴンちゃん」（中山雅史氏）のエピソードも交えて笑いと親しみの中に、介護サービスを担う私達に大きな示唆を与えて下さいました。

講演終了後、研究発表が6ブロックに分かれて、それぞれの会場で開始されました。各担当の委員の皆さんからは、回を重ねる毎に発表内容のレベルが高く

なって来ていると報告がありました。テーマの発想・着眼点の良さ、何年も蓄積されたデータ、努力とやる気の痕跡がそこかしこに散見され、より良い介護を目指す誇りと自信に満ち溢れた研究発表が多数披露されました（優秀賞6題は、10月4日（火）静岡音楽館AOI 7階講堂で開催する「介護力向上研修～研究発表Again～」で表彰及び発表を予定しています）。

介護現場には、未だ多くの問題が山積されています。特に、現在深刻化している介護人材の不足は、2025年にはピークを迎え、全国で約38万人、静岡県内では約、8,500人の介護人材不足が発生することが予想され、「2025年問題」として取り沙汰されております。しかし、この会場に伝わってきた熱気とやる気はその様な懸念を払拭して有り余るものが有りました。

最後に、このような素晴らしい大会を大盛況の内に無事終える事が出来ましたのも、大会運営に携わって下さいました、企画経営、研修、21世紀の各委員の皆様、静岡県老協事務局の皆様の親身なご協力に深く感謝し大会実行委員会を代表して厚く御礼申し上げます。大変ありがとうございました。次回は東部のプラサ・ヴェルデでの開催となります。より一層の大会になる事を祈念して、多くの皆様のご参加をお待ち申し上げます。

（玉沢昭寿園 施設長心得）

第8回静岡県高齢者福祉研究大会 優秀賞

ブロック	発表者		演 題
	施設名	職名・氏名	
A	高麓デイサービスセンター	介護職員 乾 佳織 介護職員 萩山 みさ都	輝け！シャイン（社員）制度 実践報告
B	竜爪園	ケアワーカー 築地 麻由 ケアワーカー 小林 亜由香	39cmの浴槽の壁を超えた先に
C	柿田川ホーム	介護職 羽切 侑子 介護職 角屋 雪乃	介護力向上実践報告
D	晃の園	介護員 藤波 進 介護員 本間 真人	福祉用具の導入と継続
E	羽衣の園	主任介護支援専門員 名雪 誠	人生に喜びを！
F	愛華の郷	介護主任 清水 正子 ケアマネ 我那覇 清正	芸能人は歯が命、高齢者も歯が命

特集2

研修委員会としての研修事業方針

研修委員会委員長 原 木 豊



過日の「研修に関するアンケート」につきましては、皆様にご協力を頂きありがとうございました。434件の回答を集計した結果と今後の研修事業方針についてお伝え致します。

アンケートで希望が多かった内容は「技術・技法について」であり、テーマは「介護技術」が最も多く、続いて「コミュニケーション技術」、「人材育成」、「リスクマネジメント」の順となりました。

実施の方法は、同一テーマを複数回に渡り実施することよりも「なるべく多くのテーマを提供してほしい」との希望が多い結果でした。

また、本アンケートではグループディスカッションを実施したいという意見が多くみられました。施設種別・職種・職員の経験年数等でグループを構成し、1つのテーマについて意見や情報を交わすことで課題解決のヒントを得ることや、他施設職員間のネットワーク作りに役立てたいと考える方が多い事実気付く事が出来ました。その他に「研修会場を東部・西部にも設定してほしい」との意見を多数頂きました。

「介護技術」については毎年「高齢者福祉研究大会」で各施設が切磋琢磨されていることから研修委員会では今後の方針として、「コミュニケーション」をテーマに取組みをさせて頂くことと致します。コミュニ

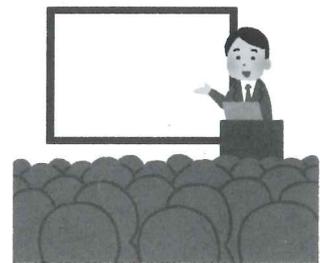
ケーションは対利用者・家族・職員間・苦情対応等様々な場面が考えられるテーマです。会員の皆様の仕事上のコミュニケーションを向上・活性化することで、利用者・家族が安心して利用できるサービスを提供し、職員が楽しく活気のある職場創りができるようになればと願います。

企画は東部・中部・西部の委員が担当し、グループディスカッションの時間も取り入れて進行できればと考えます。

研修委員2期目で委員長の任を頂き、副委員長はじめ先輩方・事務局の皆様のお力を借りて勉強させて頂いております。委員会内の連絡や、他委員会との連携については普段から気軽に出来る様になりたいと思いつつ、なかなか思うようにとれていないのが現状です。緊張しつつ老協に入会して5年目となりました。これから少しずつ皆様との繋がりを太くし、よい組織作りに貢献できればと考えます。

今後ともよろしくお願い申し上げます。

(ケアハウスみどりの風・おかべ施設長)



平成28年度研修委員会 研修実施計画

研修テーマ	内 容	時 期	会 場
リスクマネジメント	講師 株式会社安全な介護 山田 滋氏 講演会とディスカッション	12月15日(木)	県総合社会福祉会館 703会議室
介護力向上研修～Again!～	第8回静岡県高齢者福祉研究大会優秀賞の発表	10月4日(火)	静岡市音楽館A O I 7階講堂
トラブルとコミュニケーション	ディスカッション	11月予定	東部会場
より良いチームケアに必要なコミュニケーション	午前：講演会 午後：ディスカッション	2月から3月	中部会場
人材育成とコミュニケーション	講演会とディスカッション	11月以降予定	サーラシティ浜松(予定)

新人職員紹介

どうぞよろしくお願ひします

伊豆中央ケアセンター

(伊豆市)

- ① 杉森千那津・介護職員
- ② 利用者様に“ありがとう”と言って頂けたこと
- ③ 岩田剛典
- ④ 家を建てる。車を買う。
- ⑤ 利用者様も職員もみんなが笑顔でいられる施設



天間荘

(富士市)

- ① 中平有香・介護職
- ② 利用者様に「ありがとう」と言っていたこと
- ③ E-girls
- ④ 欲しいものを買って残りは貯金
- ⑤ 利用者様、職員さん誰もが笑顔で過ごせる施設にしていきたい



浜石の郷

(静岡市)

- ① 小林朋揮
- ② 同期でごはんを食べに行ったこと
- ③ Silent Siren、藤川球児
- ④ 同期でボラボラ島へ旅行に行く
- ⑤ 笑顔であふれる施設



大井川睦園

(焼津市)

- ① 山口洋平・介護職
- ② 車の運転のコツが分かってきたこと
- ③ 嵐
- ④ 家を建て直す。残りのお金で家族と旅行いきます。
- ⑤ 利用者皆様が毎日笑顔で過ごせる施設



山崎園

(浜松市)

- ① 岡田侑子・介護職(社福士)
- ② 白糸の滝に行ってマイナスイオンを浴びた事
- ③ 篠原涼子
- ④ 美味しいものを食べまくる
- ⑤ 施設に関わる皆様が和やかに過ごせる場所になりたい。



浜松中央長上苑

(浜松市)

- ① 佐々木智浩・介護職(福祉士)
- ② 新しい趣味を見つけたこと
- ③ マツコ デラックス
- ④ 車を買いかえる
- ⑤ 利用者・職員共に楽しく過ごせる施設



各施設の新人職員にお聞きしました。

- Q ① 氏名・職種 ② 最近あったうれしいことは ③ 好きなタレント、スポーツ選手
④ もし宝くじで1億円当たったら何に使うか ⑤ 今後どんな施設(職場)にしていきたいですか

静岡県老施協中部支部の活動紹介

愛華の郷と清流館高校福祉科とのコラボ事業 「第1回miniデイサービス」の紹介

特別養護老人ホーム愛華の郷施設長 阿井孝和

平成26年12月愛華の郷に介護実習の打合せに来ていた清流館高校福祉科S先生からの一言「高校の教室でデイサービスが出来ないかしら」、愛華の郷職員の反応は「福祉科生徒に最高の思い出づくりのお手伝いをしたい」、こんなきっかけから始まった清流館高校福祉科主催「第1回miniデイサービス」を紹介いたします。

1. 目的

- (1) 地域における「福祉科」の存在と認知度を高めるため「学校公開日」に実施し、学校訪問者に「福祉・介護の魅力」を発信する。
- (2) 授業における学びと介護実習での体験等を踏まえ、自校の福祉講義室において模擬デイサービスを実践することにより、更なる福祉学習の意欲を高める。
- (3) 企画段階から福祉施設の専門職のサポートを受けることにより、知識、介護技術、リスクマネジメント等について学ぶ。

2. 開催内容

- (1) 開催日 平成27年11月14日（土）学校公開日
- (2) 時間 午前9時40分から午後2時15分
- (3) 場所 静岡県立清流館高校 福祉講義室（北館1階）・調理室
- (4) 内容
 - ①参加生徒 福祉科2年生40名
 - ②模擬デイサービス利用者14名（愛華の郷の特養入居者）
 - ③サポート体制 清流館高校福祉科職員、愛華の郷職員
 - ④模擬デイサービスの流れ



9:40～	利用者お出迎え
10:00～11:20	自己紹介、レクリエーション（バルーンアート等）、昼食準備
11:30～12:30	昼食（生徒手作りの各利用者の形態に合わせた食事）
12:30～14:15	手浴、レクリエーション（クリスマスツリー作り）
14:15～	利用者お見送り

【開催後の感想】

清流館高校の学校公開日に合わせて開催した「第1回miniデイサービス」は、多数の中学生の見学者に溢れました。その光景をみた福祉科3年生からは「私達もやりたかったな。」と羨望の声が聞こえたほどです。

準備から開催日まで非常に時間が無いなか、主役である福祉科2年生40名のエネルギーは、サポート役の愛華の郷職員が引き込まれるほどの力強さがありました。

福祉科生徒の自分達がやるのだとの意識が、デイサービス利用者役の特養入居者の笑顔となり、サポート役の福祉科の先生や愛華の郷職員も大きな達成感を感じた1日となりました。

これから先「miniデイサービス」は、一過性のイベ

ントで終わることなく、当事業を通じて清流館高校福祉科生徒と学校周辺の高齢者等との定期的な交流に繋がり、地域に少しでも貢献できることを願っています。愛華の郷はそのサポート役を担っていきます。



在宅委員会の活動について

在宅委員会委員長 杉山 昌 弘



はじめまして、今期より在宅委員会の委員長となりました、杉山と申します。

私は現在の在宅サービスは、「今後どうなっていくのか」と不安になっている雰囲気であると感じています。会員の皆様は既にご存知のように平成27年度から「地域包括ケア構想」に向けて、介護報酬の改定と日常生活支援総合事業への移行が始まっています。この結果、今後介護保険は中重度を中心とし、予防などの軽度な利用者に関しては、日常生活支援総合事業として、市町村単位でのサービス提供に移行していくことになるのですが、私自身、この全く新しい制度の中で、「地域包括ケア構想」実現には不安があります。それは何故かと言えば、この「地域包括ケア構想」というものは、「住み慣れた地域で複合的にサービスを利用し安心して暮らせる社会」ということは分かるのですが、これを「自分達が今、構想の中で具体的に何をしていくものなのか」と説明するのがなかなか難しく、「事業所としてどうすればうまくやっていけるかわからない」という今の不安につながっているのではないかと感じています。

何故具体的に説明できないのかということの説明しますと、地域包括ケアは住んでいる地域の地域特性や事情により具体的な内容が違って来るからとすることができると思います。例えばその地域にある医療や介護のサービスの種類や数で提供できるサービス内容が変わりますし、利用者の経済的な面や家族関係、住宅環境などによっても提供すべきサービスも変わってき



ます。加えて地域のニーズは介護保険だけではなく、生活ニーズ全般に関する問題で介護保険事業以外の事業も検討していかな

ければならない場合もあるかもしれません。介護保険のように全国一律サービスではなく、それぞれの地



域によって提供するサービスの内容を変えていかなければならないのが「地域包括ケア構想」の難しさだと思います。

ただ同時に現在も地域拠点として活動している我々社会福祉法人が「地域包括ケア構想」の実現には不可欠だとも感じています。私ども在宅委員会はデイサービスを中心とした在宅サービスについて老協会員皆様の施設運営に有用な情報提供や在宅事業に関する研修などを主催する委員会です。会員の皆様が地域においてどのように事業を展開していくのかを考えていくための情報を、研修を通して提供していきたいと考えています。今後ともよろしく願いいたします。



平成28年度 老施協活動報告

【老施協】

- ★研究大会 28年8月19日
第8回静岡県高齢者福祉研究大会をアクトシティ浜松で開催、参加者総数926名 72題発表
講演 NHKサッカー解説者 山本昌邦氏

- ★第2回理事会 28年8月25日

【協議事項】

理事及び研修委員の選任、会長表彰受賞者の決定、県外研修内容、防災訓練実施案、介護の日啓発活動、平成30・31年度高齢者福祉研究大会開催地・会場について、平成31年度関プロ研究総会開催地・会場について

【報告事項】

第8回静岡県高齢者福祉研究大会開催結果報告
各委員会の活動状況

【企画経営委員会】

- ★28年9月23日 調査研究のあり方研修会
*講師 県立大学経営情報学部 東野定律氏
県総合社会福祉会館601会議室

【研修委員会】

- ★28年7月29日 研修委員の選任、研修に関するアンケート結果報告、平成28年度研修計画の具体化、県外視察研修について
- ★28年10月4日
「介護力向上研修～研究発表Again!～」
静岡音楽館A O I 7階講堂

【21世紀委員会】

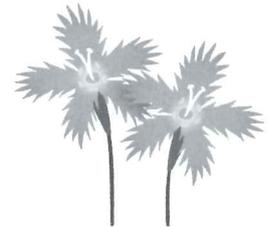
- ★28年9月15日 防災研修及び事業検討
「事例とグループワークから考えるBCPの必要性」
*講師 渡嘉敷唯之氏
静岡県教育会館

【高齢者福祉研究大会実行委員会】

- ★28年7月29日 第8回静岡県高齢者福祉研究大会合同会議、全体スケジュール、業務分担の確認等

【在宅委員会】

- ★28年8月29日 研修会内容検討、情報交換



編集後記

最近、鳶（トビ）に興味を持っている。全国に分布し海辺に生息する。この鳥は、羽ばたかずに飛ぶ帆翔という飛行をする。上昇気流の強弱で、上昇下降自由にできる。この技術はグライダーに応用される。鳶は、バタバタせず、羽音も立てずに獲物をとる。近年の社会福祉環境の変化を風と見れば、鳶を真似て自由に飛びたい。

(土屋)

メンタルヘルス対策として、ストレスチェックの実施が義務化された。職員がストレスを貯め過ぎないように、メンタルヘルス不調を未然に防いで健康に仕事を行うことは、介護サービスの質・量の向上や事故の減少をはじめ、職員の満足度・モラルの向上等をもたらして、それが施設の評価を高めしていく一因となるのではと思う。

(鍋岡)

リオのオリンピック、高校野球は私たちに数々の感動を与えてくれました。静老施協の福祉研究大会も皆さんの努力と協力で盛会のうちに終了。外は日中の暑さが少しずつ秋風に代わり、虫の声と花々の景色が秋色に染まってきました。そんな日々の変化を利用者様に感じてもらえる施設運営をしていかなければと思います。

(兼子)

新 加 入 施 設 紹 介

軽費老人ホーム

伊豆天城ハウス

法人名 社会福祉法人 愛誠会
 開設日 平成28年4月1日
 (入会申込 平成28年6月1日)
 施設長 長久 俊也
 所在地 伊豆市湯ヶ島937
 入所定員 70名
 (自立型50名、特定型(介護型) 20名)



養護老人ホーム

するが荘

法人名 社会福祉法人 美芳会
 開設日 平成28年3月28日
 (入会申込 平成28年6月1日)
 施設長 大塚 芳子
 所在地 富士市原田2030-32
 入所定員 90名

特別養護老人ホーム

天竜厚生会城北の家

法人名 社会福祉法人 天竜厚生会
 開設日 平成27年9月16日
 (入会申込 平成28年6月1日)
 施設長 稲穂 浩美
 所在地 浜松市中区城北1-24-5
 入所定員 100名 短期 20名



第9回静岡県高齢者福祉研究大会 開催日程・会場

- ・期 日 平成29年8月4日(金)
- ・会 場 ふじのくに千本松フォーラム(愛称: プラサヴェルデ)

